



木立のある交差点（大字玉川地内）

玉川地内の交差点付近に、空に向かって伸びた枝が、箒を立てたような形に見える榎の木が数本並んでいた。郵便局を右に見て「ひと市」の信号を直進し、次の信号を通り過ぎたあたりで後ろを振り返ってみると、弓立山、奥武蔵の山並を背景に、こんな景色が広がっていたのだった。

ある日、通りかかると榎は切られていて、この景色は、今もう見られない。「行く川の流れば絶えずして、しかも元の水にあらず・・・」学生の時、暗唱した「方丈記」の一節を思い出した。



【編集後記】周回コースとなった町駅伝。タスキをつなぐ場面を間近で見ることができ、多くの方の勇姿を写真に収めることができた。私も陸上経験者（短距離）であり、100分の1秒にかけた想いは今でも忘れない。コンマ1秒に青春時代が詰まっているのだ。ちなみに中学生の時に長距離部員に混じってこの駅伝に参加した結果、私だけ区間賞を取ることが出来ず撃沈している。100分の1秒どころの差では無かったので、それからは応援専門です。【笠原】

